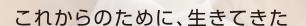


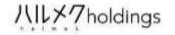
2025年8月14日

株式会社ハルメクホールディングス (証券コード: 7119)

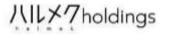








- 1.2026年3月期 第1四半期 決算概要
- 2.2026年3月期 業績予想と配当予想
- 3. 中期経営計画



1. 2026年3月期 第1四半期 決算概要

業績ハイライト(連結損益計算書)

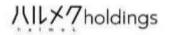


- 売上は前年比微増
- 営業利益は増益、想定を上回って進捗
 - 情報コンテンツの広告前倒し(1.0億円、7月→6月)影響を除いた実力値では1.3億円の増益
- 四半期利益は前年並み、税率の通常化により前期比では法人税等がやや増加
 - 上記広告影響を除いた実力値では0.6億円の増益

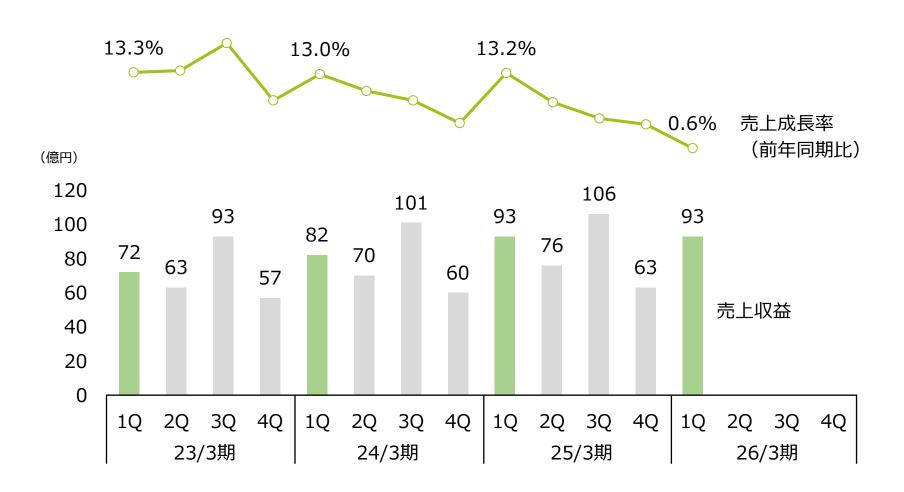
| (IFRS基準) | 25/3期 | 26/3期 | 前期比 | | |
|-----------------------|-------|-------|-----|-------|--|
| (IFKS 经华) | 第1四半期 | 第1四半期 | 増減額 | 増減率 | |
| 売上収益 | 9,320 | 9,378 | +57 | +0.6% | |
| 営業利益 | 604 | 632 | +27 | +4.6% | |
| 税引前利益 | 593 | 619 | +26 | +4.4% | |
| 四半期利益 | 409 | 405 | △4 | △1.1% | |

単位:百万円

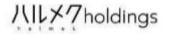
四半期別業績推移(売上収益)



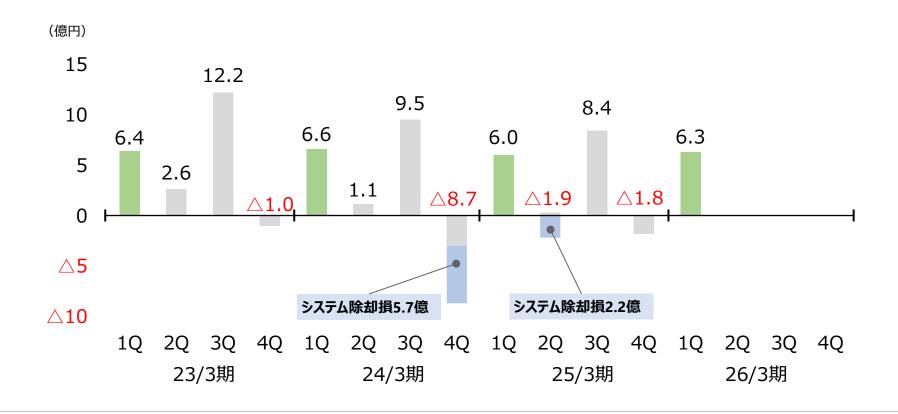
- 26/3期より収益化フェーズに移行
- 広告効率の改善を優先した結果、収益性は着実に向上も売上は微増



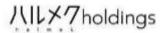
四半期別業績推移(営業利益)



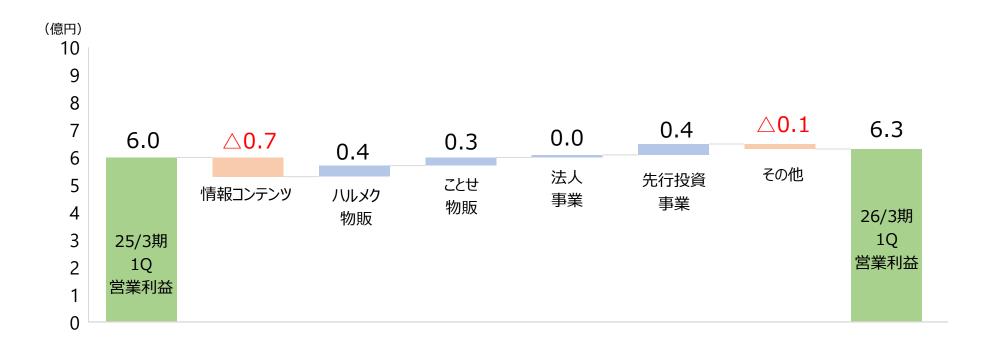
- 第1四半期は、広告効率の改善が進み増益
 - 広告影響を除いた実力値では7.3億円と第1四半期では過去最高水準
- 当社の業績は季節性があり、第1、第3四半期に利益が大きくなる傾向がある



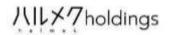
2026年3月期 第1四半期 営業利益の分析(事業別)



- 情報コンテンツ事業では、1年で一番読者を獲得できる特集を2Qから1Qに前倒しした結果、広告宣伝費が増加し、1Qの利益としては減少(通年では利益増加の見込み)
- ハルメク物販は、増収に加え広告効率(媒体費率)が改善したことで利益増
- **ことせ物販**は、前年度下期より広告投資を抑制したことにより売上が減少したものの完売率改善により利益増
- 法人事業は、新規クライアントの開拓が順調に進み利益微増
- 先行投資事業は、押し花事業の赤字幅縮小により利益増



事業別業績



- グループ連結は増収増益(IFRSとの違いで一番大きいのは、6月30日出荷の売上が含まれていること)
- 基盤事業及び法人事業は増収増益
- 先行投資事業は「花と緑の研究所」の売上増が寄与し増収増益(赤字幅縮小)

| (口+甘洗) | | 25/3期 | 26/3期 | 前期比 | | |
|--------|------------|------------------------|----------------------|----------------------|------------------|----------------------|
| | (日本基準) | | 第1四半期 | 第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
| グルー | プ連結 | 売上 EBITDA (マージン) | 9,303 738 7.9% | 9,467 805 8.5% | +163 +67 — | +1.8% +9.1% — |
| | 基盤事業 | 売上 EBITDA (マージン) | 8,919 750 8.4% | 8,981 766 8.5% | +61 +16 — | +0.7% +2.2% — |
| | 法人事業 | 売上 EBITDA (マージン) | 318 28 9.0% | 329 37 11.5% | +10 +9 — | +3.4% +32.7% — |
| | 先行投資 事業 | 売上 EBITDA | 143 △109 | 196 △67 | +52 +41 | +36.5% |
| | 調整額 | 売上 EBITDA | △78 68 | △39 68 | +39 △0 | _ _ |

^{*1} 本ページで記載する業績は全て日本基準のため、4ページの業績ハイライトと一致しない箇所あり。EBITDA:営業利益+償却費、EBITDA率(マージン):EBITDA÷売上高

単位:百万円

^{*2} 基盤事業:「情報コンテンツ(ハルメク誌)」「ハルメク物販(カタログ通販+現EC+店舗+新聞外販)」「ことせ物販」 法人事業:ハルメク・エイジマーケティングが担当しているシニア企業向けにマーケティング戦略立案から実行・改善までをトータルで支援するB2B事業 先行投資事業:HALMEK up(講座・イベント含)、プレシニア向け物販、コミュニティ(押し花)、サービス(ジム)、中国事業準備

基盤事業内訳



- 情報コンテンツは、 購読料値上げを主因に増収も、 特集を前倒ししたことにより 減益
 - 広告前倒しの影響を除いた実力値ではEBITDA前期比+0.3億円と増益
- ハルメク物販は、インナー等の商品好調に加え前期出店効果により増収、広告効率(媒体費率)改善で増益
- **ことせ物販**は、前年度下期からの広告投資抑制により減収も、完売比率改善により増益(赤字幅縮小)

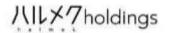
| (日本基準) | | 25/3期 | 26/3期 | 前期比 | | |
|--------|-------------|------------------------|----------------------|----------------------|------------------|----------------------|
| | | 第1四半期 | 第1四半期 | 増減額 | 増減率 | |
| 基盤 | 事業 | 売上 EBITDA (マージン) | 8,919 750 8.4% | 8,981 766 8.5% | +61 +16 — | +0.7% +2.2% — |
| | 情報 コンテンツ | 売上 EBITDA (マージン) | 917 299 32.6% | 938 227 24.3% | +20 △71 — | +2.3% △23.9% — |
| | ハルメク 物販 | 売上 EBITDA (マージン) | 5,555 519 9.3% | 5,983 567 9.5% | +427 +48 — | +7.7% +9.2% — |
| | ことせ物販 | 売上 EBITDA (マージン) | 2,446 △67 — | 2,060 △27 — | ∆386 +39 — | △15.8% — — |

単位:百万円

^{*1} 本ページで記載する業績は全て日本基準。EBITDA:営業利益+償却費、EBITDA率(マージン):EBITDA÷売上高

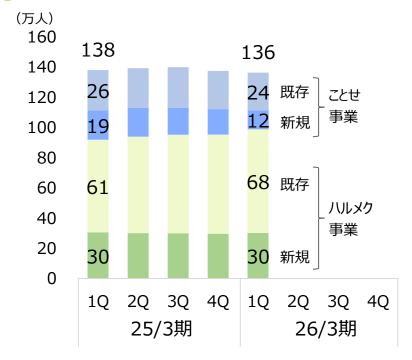
^{*2} 基盤事業:「情報コンテンツ(ハルメク誌)」「ハルメク物販(カタログ通販+現EC+店舗+新聞外販)」「ことせ物販」

KPI推移(アクティブ顧客数)



- アクティブ顧客の総数は前年並みで、4Qより減少
- 減少の主因はことせ事業で、前年下期に収益改善のために広告投資を絞った影響で新規顧客数およびアクティ ブ顧客数が減少
 - 今期からは広告投資を再開し、1Qの新規顧客獲得数は前期4Qを上回って推移(詳細はP.15参照)
- ・ ハルメク事業は新聞広告や新店展開による新規顧客獲得でアクティブ顧客数が増加

アクティブ*1顧客数



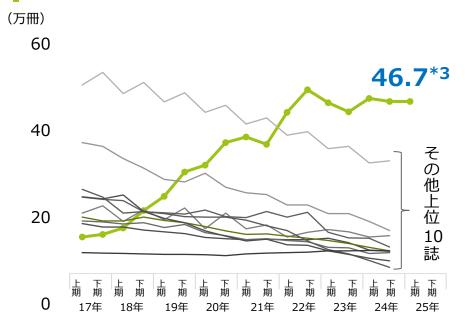
^{*1 12}ヶ月以内に当社サービスを利用した顧客数

情報コンテンツの状況:販売部数および利益を維持



- ハルメク誌の2025年上期(1~6月)販売部数はほぼ横ばいで国内全雑誌No.1*1を維持
- 強い特集号の前倒し実施(7月→6月)によって、1Qの広告宣伝費が1.0億円増加した一方、2Q以降の 売上利益が例年より増加する見込み
 - ※6月の広告で獲得した雑誌新規顧客の売上は、6月にはほとんど計上されず7月以降に毎月計上される

他誌比較(ハルメク誌読者数)*2



*1 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート

情報コンテンツ_EBITDA*4四半期推移



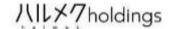
*4 本ページで記載する業績は全て日本基準。

EBITDA:営業利益+償却費、EBITDA率(マージン): EBITDA÷売上高

^{*2} 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート (2017年~2024年。上期(1-6月)・下期 (7-12月)の販売部数)

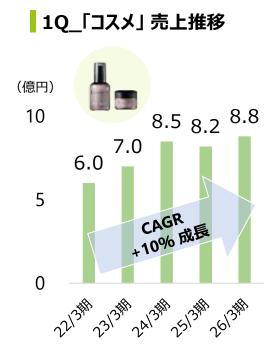
^{*3 25}年上期 (1-6月) の読者数は当社試算 (速報値含む)

ハルメク物販の状況:競争力の高い商品カテゴリーを強化中



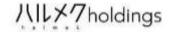
- 競争力の高いハルメクのインナー、コスメの展開を強化
 - □ インナー売上は健康サポートインナー等他社にはない商品が顧客のニーズを捉え売上拡大
 - □ コスメは25年3月期に一旦停滞したが、再び成長路線に

1Q_「インナー」売上推移 (億円) 10 8.4 7.1 5.6 5 4.1 CAGR +20% 成長 10 0

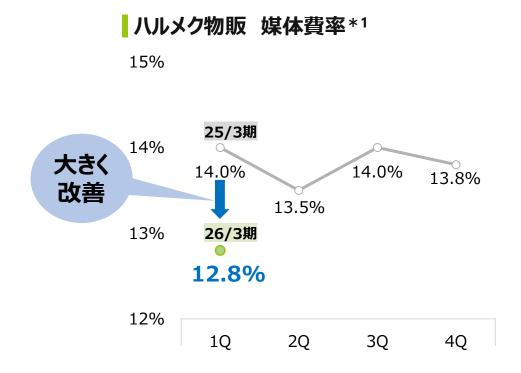


^{*} 本ページで記載する業績指標は全て日本基準。CAGRは22/3期から26/3期の該当する各期間(今回は1Q)で算出

ハルメク物販の状況:利益性を改善

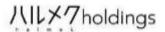


- 広告効率(媒体費率)改善
 - □ カタログ配布施策の見直しにより前年から大きく改善
 - □ 商品開発力の強化や誌面構成の刷新にも引き続き取り組む

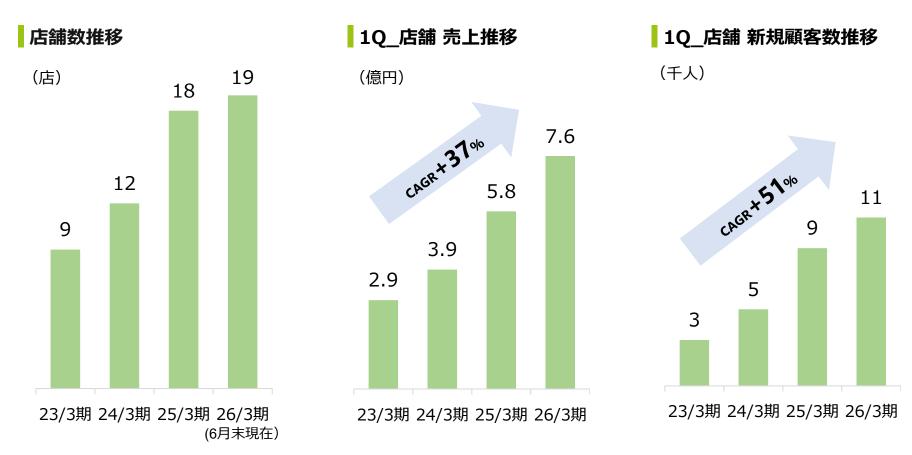


^{*1} 媒体費率…売上に対するカタログ費用の割合。低いほど効率が高い。季節性による変動を平準化して比較するため、該当期末から6か月間の実績を加重平均し算出

ハルメク物販の状況:新店舗展開を継続

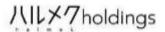


- 2025年4月に広島県広島市に出店
- 2025年6月末現在、12都道府県に19店舗を展開、今後も全国の百貨店を中心に新規出店していく予定

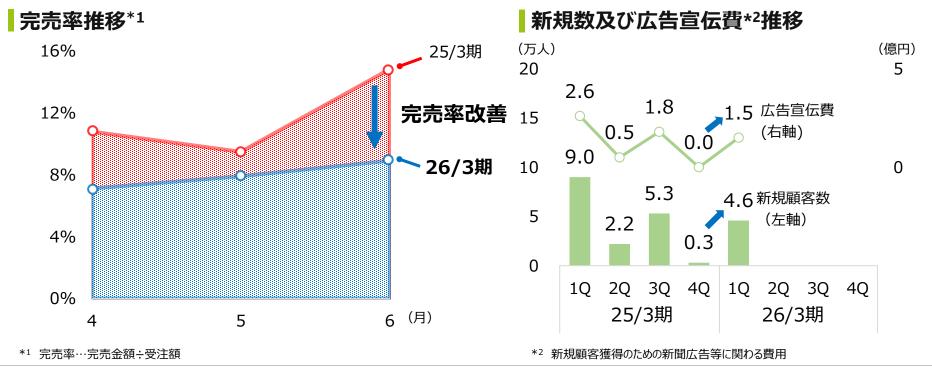


[•] 本ページで記載する業績指標は全て日本基準。CAGRは23/3期から26/3期で算出。なお、店舗売上においては、26/3期より靴事業をチャネル別に統合したことに伴い、過年度実績に含まれていた通販分を通販チャネルの靴カテゴリーへ移管し、実績を訴求修正しています。

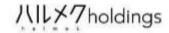
ことせ物販の状況: 完売率改善と顧客獲得再開



- 完売率の改善により赤字幅減少 〇
 - □ 完売率の改善により収益性は改善の方向に向かっている
- 広告投資抑制により新規獲得数減少 ×
 - 収益性の回復を優先し、前期2Q以降は広告投資を抑制。その結果、新規獲得数は減少。収益と顧客 獲得のバランスをとりながら着実に業績を回復させる方針
 - 今期1Qは広告宣伝費を前期4Qから大幅に増額し、新規顧客獲得数は回復傾向



法人事業の状況:着実に成長



新規クライアント開拓は堅調に推移、売上利益共に前年増で推移

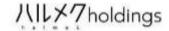
法人事業の売上/営業利益(1Q)



^{*} 本ページで記載する業績指標は全て日本基準

プレシニア事業の状況:

プレシニアのための動画配信サービスをローンチ予定



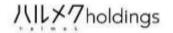
- UI/UXや番組構成を抜本的に見直している第一段として動画配信を予定
 - 50~60代女性の第二の人生を後押しする専用動画を定期配信
 - スマホ世代の女性たちに向けた新しい映像体験を提供

新しい動画配信サービスのコンテンツイメージ

「モヤモヤのち晴れ」

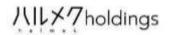
「心のモヤモヤ」や「価値観のゆらぎ」を「自分への問い直し」として描く。専門家らと、"これからの私"を考えるヒントに





2. 2026年3月期 業績予想と配当予想

連結業績予想(通期)

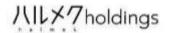


• 業績予想は変更なし

| (IFRS基準) | 25/3期 | 26/3期 | 前期比 | | |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--|
| (IFK3 左 华) | 実績 | 実績業績予想 | | 増減率 | |
| 売上収益 | 33,930 | 35,000 | +1,069 | +3.2% | |
| 営業利益 | 1,068 | 1,500 | +431 | +40.4% | |
| 税引前利益 | 1,020 | 1,450 | +429 | +42.1% | |
| 当期利益 | 623 | 900 | +276 | +44.3% | |

単位:百万円

連結業績予想(上期·下期別)

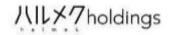


- 1Q実績は想定をやや上回って推移
- 例年1Qは利益が大きく、2Qは利益が小さいので、上期業績予想は変更なし
 - 利益改善が1Q想定をやや上回るペースで推移していることから、上期は業績予想をやや上回る見込み

| (IFRS基準) | 26/3期 業績予想 | | | 26/3期 1Q実績 | |
|-------------------|---------------|--------|--------|---------------|-------------|
| (IFRS | 上期 | 下期 | 通期 | 実績 | 上期予想 進捗率 |
| 売上収益 | 17,000 | 18,000 | 35,000 | 9,378 | 55.2% |
| 営業利益 | 650 | 850 | 1,500 | 632 | 97.3% |
| 税引前利益 | 625 | 825 | 1,450 | 619 | 99.2% |
| 当期利益 | 400 | 500 | 900 | 405 | 101.3% |

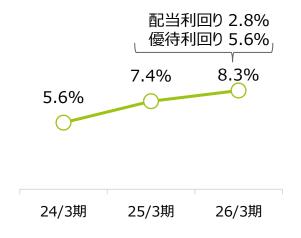
単位:百万円

配当予想



- 2026年3月期から中間配当開始、年間配当30.0円/株(計画)、配当性向36.7% (中間配当15円/株、期末配当15円/株を計画)
- 配当+優待利回りは、最大8.3% *1

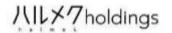
配当+優待利回り*1推移



配当の状況

| 期 | 中間配当 | 期末配当 | 配当性向 |
|-------|-------|-------|-------|
| 24/3期 | 0.0円 | 0.0円 | _ |
| 25/3期 | 0.0円 | 20.0円 | 35.0% |
| 26/3期 | 15.0円 | 15.0円 | 36.7% |

^{*1} 利回りは、2025年6月30日株価(終値)1,085円で算出。優待利回りは柚子の里だより(1本)の2025年6月30日時点における販売価格3,024円(税込)を採用し、100株保有したケースで年2回の優待を受領したと仮定して算定しております。



- 2025年9月度から従来の選べる優待に加えて、抽選形式の優待を追加
- 人生をよりよく生きるための特別な体験機会を提供

抽選で当たるハルメク特選優待

- 旅行体験

星野リゾートを満喫 利用人数やお部屋は自由に選択可能



星野リゾート宿泊ギフト券 (20万円分) 当選数1名

- 料理飲食体験

上質な美食体験と、記憶に残る ひとときを



ひらまつディナー券 (2名・39,000円分) 当選数5名

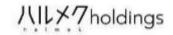
- 特選協賛品

熟成期間12年! 時が生み出す 驚きと感動の日本酒



古昔の美酒 Vintage2013(180ml) (5,500円) 当選数50名

ご参考:既存の株主優待



• 25年9月末基準日からはHALMEK up年間利用券も選べる優待の一つとして追加

必ず貰える選べる優待

100株以上500株未満

①柚子の里だより (一本)



①雑誌「ハルメク」 定期購読権(1年分)



500株以上

4毎日を楽しむ食セット

- たっぷり牛姜と国産鶏の キーマカレー(6袋)
- ほっこり豆と野菜の元気 カレー(6袋)



②人参ジュース ビン1本



新設

2[HALMEK up] 年間利用権



⑤毎日を楽しむ食セット

- 柚子の里だより(一本) (2箱)
- しらすせんべい<うす塩味 >小袋4g(8袋)





③健康を育む食セット

- 寝かせ玄米ごはん3種
- ナッツ&フルーツ2袋



4毎日を楽しむ食セット

- たっぷり牛姜と国産鶏 のキーマカレー(2袋)
- ほっこり豆と野菜の元 気カレー(1袋)



③健康を育む食セット

- 人参ジュース ビン 1本
- 寝かせ玄米ごはん3種
- 宝寿茶ティーバッグ 3g(10包)
- ナッツ&フルーツ8袋



⑥ハルメク エシカルセット

- 古着でワクチン 中サイズ
- 人参ジュース(缶10本)



ハルメクholdings

3. 中期経営計画

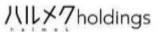
成長戦略上における2026年3月期の位置づけ

ハルメクholdings

- アクティブシニア×アナログ事業は、25年3月期まで上場効果を活かした人的投資やBCP対策を含めた先行投資と事業立て直しフェーズ、26年3月期から収益化フェーズに移行
- プレシニア×デジタル事業は、HALMEK up等に先行投資を継続

24年3月期 25年3月期 26年3月期 27年3月期 28年3月期 先行投資& 収益化 アクティブシニア 事業立て直し フェーズ アナログ事業 フェーズ M&Aによる成長性向上 プレシニア 先行投資を継続 デジタル事業 M&Aによる事業立ち上げの加速

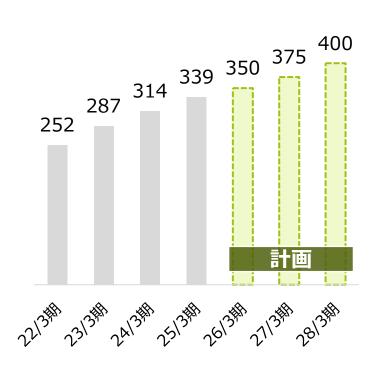
中期経営計画①



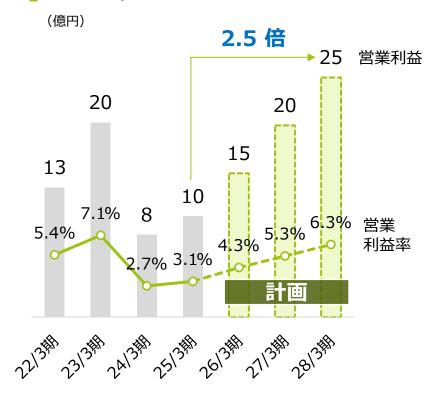
• 日本におけるシニアビジネスのリーディングカンパニーとして、持続的な成長と安定した収益性の確保を目指す

売上収益

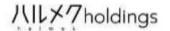
(億円)



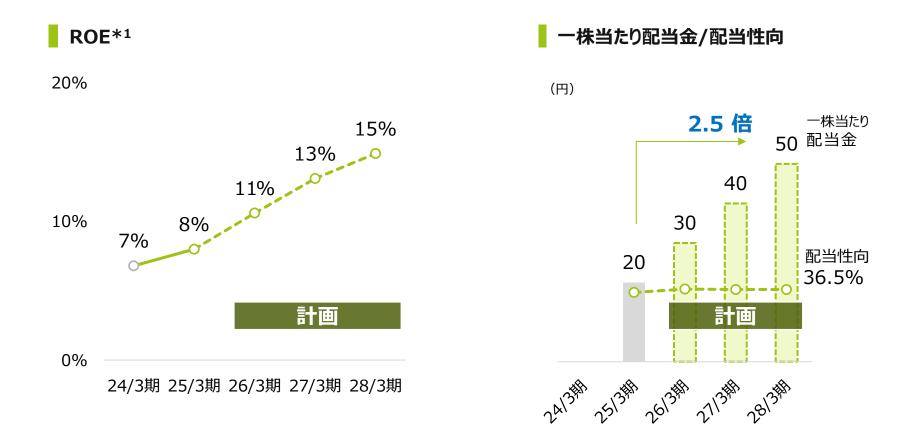
営業利益/営業利益率



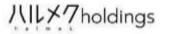
中期経営計画②



- 収益性を高めROE15%を目指す
- 将来の成長に必要な内部留保を着実に積み上げつつ、配当性向35%を目安として、安定配当の方針

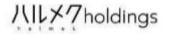


^{*1} 親会社所有者帰属持分当期利益率



APPENDIX 財政情報

キャッシュ・フローの状況

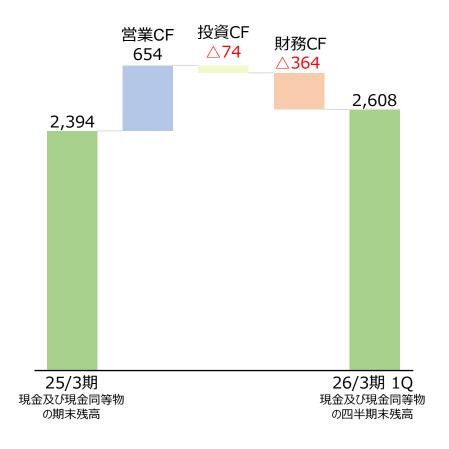


単位:百万円

| | | 25/3期 1Q | 26/3期 1Q |
|---|-----------------------|-------------|-------------|
| 営 | 業活動によるCF | 621 | 654 |
| | 税引前四半期利益 | 593 | 619 |
| | 減価償却費及び償却費 | 269 | 277 |
| | 法人所得税の支払額 | △37 | △200 |
| 投 | 資活動によるCF | △150 | △74 |
| 財 | 務活動によるCF | △139 | △364 |
| | 配当金の支払額 | _ | △219 |
| | リース負債の返済による支出 | △140 | △145 |
| | 金及び現金同等物の増減額 △は減少) | 330 | 214 |
| 現 | 金及び現金同等物の期首残高 | 938 | 2,394 |
| 現 | 金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,269 | 2,608 |

連結キャッシュ・フロー

(百万円)



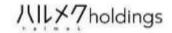
連結財政状態計算書

ハルメクholdings

単位:百万円

| | | | | 单位:日月月 |
|----|----------------|-------------|------------------|--------|
| | | 25/3期 実績 | 26/3期 第1四半期実績 | 前期比 |
| 流重 | 加資産 | 7,591 | 9,104 | +1,512 |
| | 現金及び現金同等物 | 2,394 | 2,608 | +214 |
| | 営業債権 | 1,675 | 2,787 | +1,112 |
| | 棚卸資産 | 3,198 | 3,438 | +239 |
| 非況 | 流動資産 | 13,301 | 13,108 | △192 |
| | 使用権資産 | 2,838 | 2,699 | △138 |
| | のれん | 4,452 | 4,452 | _ |
| | 無形資産 | 5,048 | 4,988 | △59 |
| 資產 | 音計 | 20,893 | 22,213 | +1,320 |
| 流重 |)負債 | 8,919 | 10,186 | +1,266 |
| | 営業債務及びその他の債務 | 2,677 | 4,197 | +1,519 |
| | 契約負債 | 2,738 | 2,487 | △251 |
| | 未払法人所得税 | 204 | 218 | +14 |
| 非況 | 記動負債 | 3,777 | 3,645 | △132 |
| 負債 | 5 合計 | 12,697 | 13,831 | +1,133 |
| (| 利子負債残高) | 1,900 | 1,900 | _ |
| 資本 | x合計 | 8,195 | 8,382 | +186 |
| 負債 | 長及び資本合計 | 20,893 | 22,213 | +1,320 |
| | | | | |

財政状態関連指標



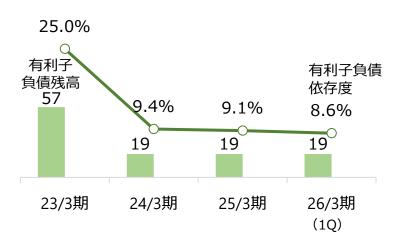
• 自己資本比率は配当により微減、有利子負債依存度は横ばい

財政状態 (億円) 総資産 230 222 208 201 自己資本 39.2% 37.6% 比率*1 37.7% 28.1% 資本 83 81 75 64 23/3期 24/3期 25/3期 26/3期 (1Q)

*1 親会社所有者帰属持分比率

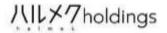
有利子負債残高及び依存度*2

(億円)

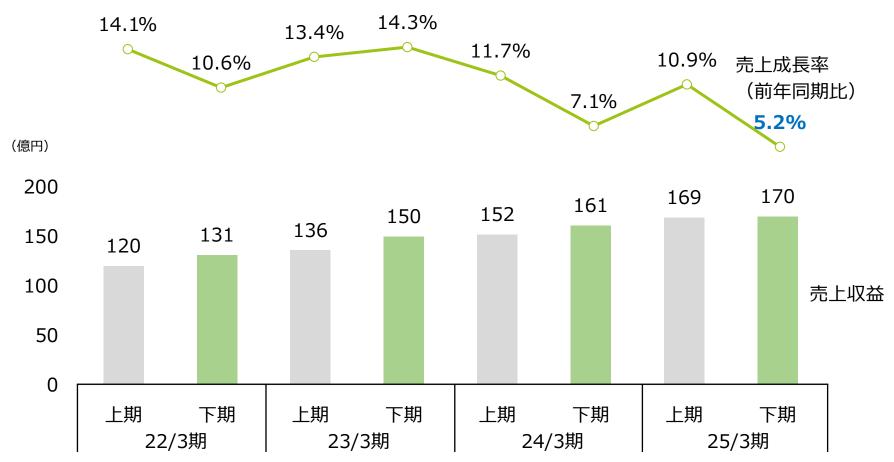


*2 有利子負債依存度=有利子負債(借入金)÷総資産合計

半期別業績推移(売上収益)

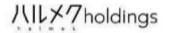


物販売上好調や、雑誌「ハルメク」の購読料値上げ(2024年1月)により売上成長継続

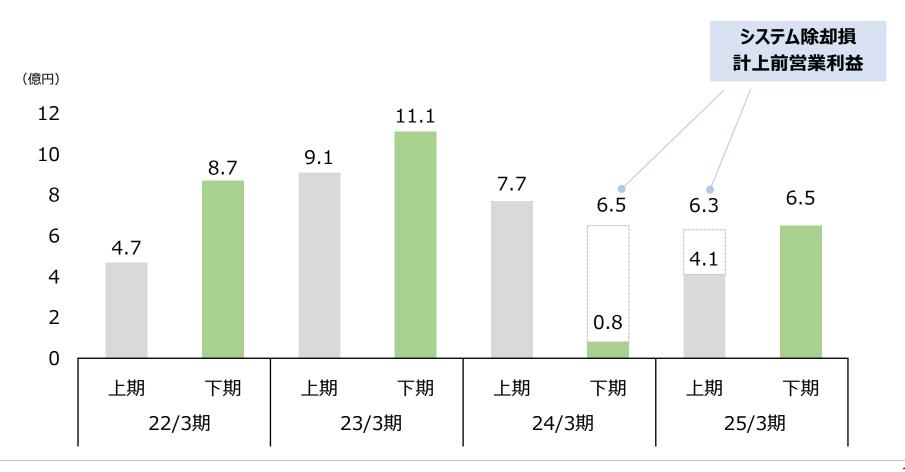


^{* 22/3}期の売上成長率(前年同期比)は(旧)株式会社ハルメクホールディングスの2020年8月期(2020年4月1日から2020年8月3日)の連結業績と 当社の2021年3月期(2020年8月4日から2021年3月31日)の連結業績を単純合算した数値(未監査)と比較して試算しています。

半期別業績推移(営業利益)



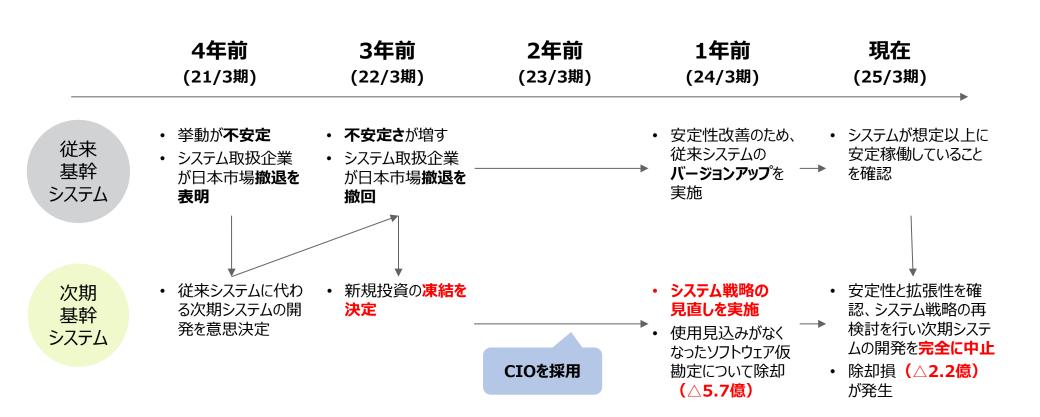
- 上期はシステム除却損の計上等により前年同期比減益、下期は反転増益
- ・ 広告効率は24/3期下期に悪化し、現在も改善は道半ば
- 24/3期は上期より下期の利益が小さいが、通常は季節性により、上期より下期の利益が大きくなる傾向がある



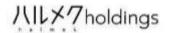
ご参考:システム除却損の計上について

ハルメクholdings

- システム戦略の見直しを行い、次期基幹システムへの移行は不要と判断
- 今回の次期基幹システム開発中止により、10億円程度の追加投資を回避



情報コンテンツの状況:利益性の改善



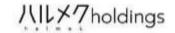
- 値上による利益性改善
 - 2024年1月から雑誌の値上げを実施
 - □ 値上げによる購読者数への影響は軽微
- ・ ハルメク誌の広告効率(CPO)改善
 - □ 有力特集の前倒しにより新聞広告のCPOやや改善
 - □ TV広告等を活用したクロスマーケティング*1は首都圏を含めて実施

| ハルメク誌 CPO推移*2

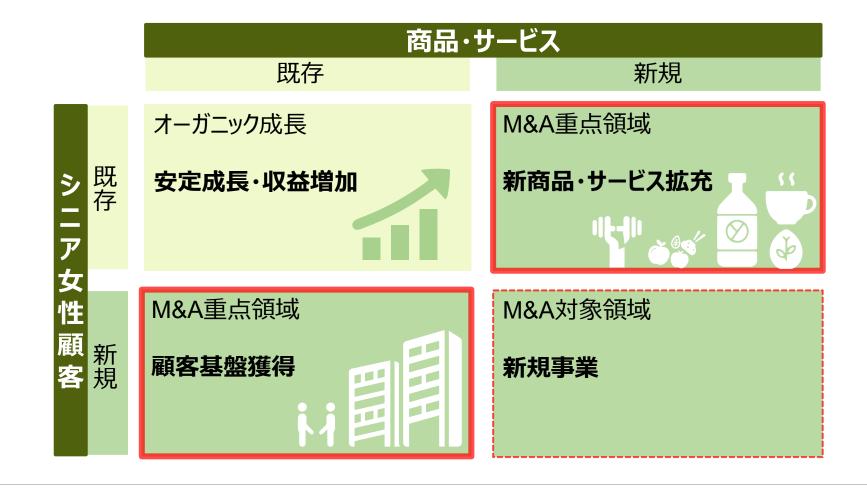


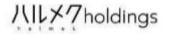
^{*1} テレビ広告と新聞や折込広告等を連動させた広告手法 *2 CPO…ハルメク誌の新規顧客1人当たりの獲得広告単価 *3 年間(2024年7月~2025年6月)実績の加重平均

M&Aに取り組む(重点領域)



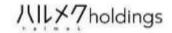
- 既存顧客に新たな商品・サービスを提供できる企業
- 既存の商品・サービスを提供できるような顧客基盤を持つ企業



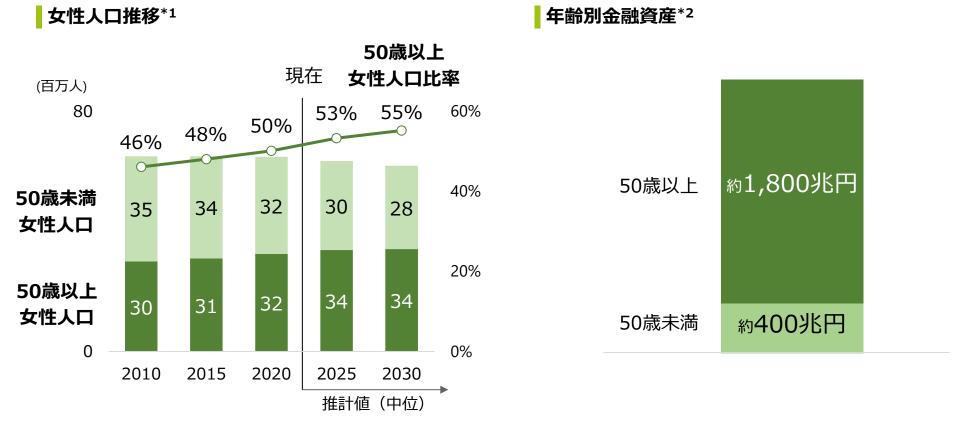


APPENDIX 事業説明

当社は魅力的なシニア市場で事業を展開



- 人生100年時代。50歳以上人口は、総人口の半分を超える
- 豊富な金融資産を保有し、経済力も高い魅力的な市場で事業展開



^{*1} 国立社会保障·人口問題研究所

^{*2} 日本銀行資金循環統計(2024年3月末)の家計金融資産に対して、令和5年版高齢社会白書の世代別金融資産分布状況(2019年)の50代以上の比率の合計を乗じて算出した当社推計値

ハルメクの事業領域はブルーオーシャン

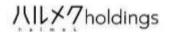
出所: 当社作成のイメージ図



ハルメクの事業領域はブルーオーシャンである「プレシニア市場」と「アクティブシニア市場」です。

シニア層の年齢・市場イメージ 現在の 拡張していく 事業領域 事業領域 アクティブシニア市場 プレシニア市場 デジタル中心 アナログ中心 50代 60代 70代 80代 自立 前期高齢者(65-74歳) 後期高齢者(75歳超) 健康的で自立している層 ブルーオーシャン ケアシニア市場 老人ホーム、介護、葬式、お墓などに関連 要介護 したサービス

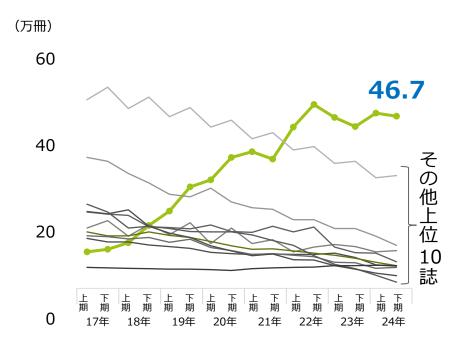
ハルメクはシニア市場におけるトップランナー



- シニア女性雑誌「ハルメク」は販売部数で2022年から6半期連続で国内全雑誌No.1*1
- アクティブシニア市場におけるシェアは6%で、まだ大きな成長余地を残しています。

他誌比較(ハルメク誌読者数)

当社ターゲット層のシェア率*2





- * 25/3期末時点の当社顧客数を2023年時点の アナログ×アクティブシニア人口で除して算出
- *1 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート (2017年~2024年。上期(1-6月)・下期(7-12月)の販売部数)
 *2 25/3期末時点の当社顧客数を2023年時点のアナログ×アクティブシニア人口で除して算出

ユニークなビジネスモデル



• 日本で一番売れている雑誌*1「ハルメク」でシニア女性を集客、物販でグループを支える収益を得て、イベント・ 講座等のコミュニティビジネスで顧客ロイヤリティを高めています



役立つ情報を雑誌・ネットで提供

イベント・講座で「つながりの場」を提供







購読者のリアルな声をもとに オリジナル商品を通販や店舗で提供





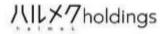


ハルメク おみせ 19店舗*²

^{*1} 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート(2024年下期(7-12月)実績)

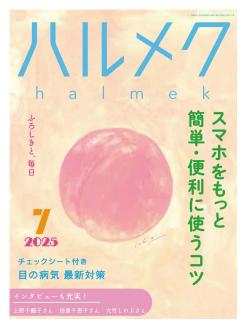
^{*2 2025}年6月末時点の店舗数

事業紹介:情報コンテンツの提供 ハルメク誌



- 雑誌"ハルメク"は販売部数「女性誌No.1」*1、2024年下期(7-12月)において「全雑誌No.1」*2 を維持
- シニア女性の不安や不満、期待に応える幅広い記事を提供

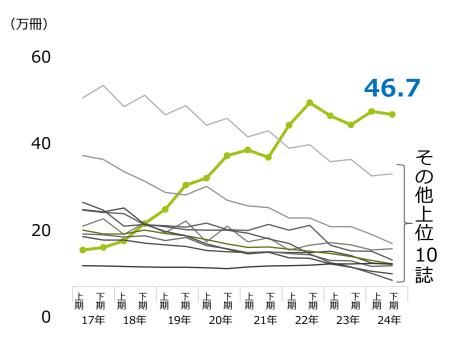
月刊定期購読誌 ハルメク



2025年7月号 (6月10日発売号)

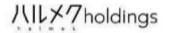


他誌比較(ハルメク誌読者数)



- *1 一般社団法人日本ABC協会発行社レポートの女性誌分野で 2019 年上期(1-6月)から販売部数 12 半期連続 No.1 *2 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート2024年下期(7-12月) *3 12冊コースの料金 *4 一般社団法人日本ABC協会発行社レポート(2017年~2024年。上期(1-6月)・下期(7-12月)の販売部数)

事業紹介: ハルメク物販①



- ハルメク物販の起源は、雑誌「ハルメク」購読者に対して、欲しいに応える商品を開発し提供し始めたこと
- 顧客の声を聴き、顧客の悩みや期待に応える商品をオリジナル商品を中心(シェア8割*1)に中高価格帯で展開



雑誌「ハルメク」にカタログ2冊を同封、ハルメクの世界観を 商品でも体感していただく



一 ハルメクおしゃれ

最新ファッションや着こなしテクニック、美容情報など今、 気になる商品と情報をお届け



- ハルメク健康と暮らし

編集者が実際に試して良かった商品だけをご紹介!生活に 役立つ商品と情報をお届け 毎月 約300アイテムを 厳選して紹介

^{*1 2025}年3月期実績、ハルメク社オリジナル商品の売上高÷ハルメク社の全商品の売上高

事業紹介:ハルメク物販② オリジナル商品で新規顧客を獲得 ハルメクholdings

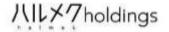
• 従来型の雑誌「ハルメク」で集客し、物販で収益化を図るモデルから進化し、深い顧客理解に基づき開発した オリジナル商品で集客する施策も強化中







事業紹介:情報コンテンツと物販の連携例



- ハルメク読者の声をもとにしたオリジナル商品を開発
- ハルメク読者と一緒につくったワンピースを展開
- 読者の声を生かした商品展開を今後も実施していく



事業紹介:店舗展開の状況



全国12都道府県に 19店舗を展開











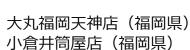
東海

関西

北海道

東北

関東



札幌三越店(北海道)

神楽坂本店 (東京都)

そごう千葉(千葉県)

京王百貨店 新宿店(東京都) 小田急百貨店 町田店(東京都) 東武百貨店池袋店(東京都) 松坂屋上野店(東京都) 髙島屋横浜店(神奈川県)

東武百貨店船橋店(千葉県) 伊勢丹浦和店(埼玉県)

阪神梅田本店 (大阪府)

名鉄百貨店本店(愛知県)

福屋広島駅前店(広島県)

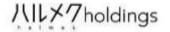
ジェイアール京都伊勢丹店(京都府)

あべのハルカス近鉄本店(大阪府)

藤崎店 (宮城県)

九州 熊本鶴屋店 (熊本県)

事業紹介:店舗の高い集客力が評価



- ・ ハルメク おみせが「2024年度 百貨店バイヤーズ賞*1」レディス部門の新人賞を受賞
 - □ ハルメク おみせの百貨店での集客力の高さが評価された

2024年度 百貨店バイヤーズ賞の概要

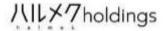
- 「百貨店バイヤーズ賞」は、1982年から続く歴史あるアワードの一つ
- レディス部門は、2024年1月~12月に百貨店のレディス売場で活躍あるいは話題を呼び、売上に貢献したブランドが、 全国約30の有力百貨店のバイヤー・販売担当者の推薦により選定されます





^{*1} 繊研新聞社が主催する、百貨店のバイヤーや販売担当者が推薦したブランドを対象に、売上貢献度や話題性などを評価して選出される賞

事業紹介:コミュニティ事業

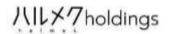


- 情報コンテンツや物販と関連した体験やつながりを提供
- リアルからスタートし、コロナ禍を契機にオンラインでの提供も開始



- *1 2025年3月期のリアル、オンラインを含めた旅行、講座・イベントの実施本数
- *2 2025年3月期に実施したリアル、オンラインを含めた旅行、講座、イベントの参加人数

事業紹介:法人事業



• シニア女性向けビジネスプラットフォームの活用機会を提供し、B2Bビジネスを展開





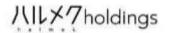
法人事業 ハルメク・エイジマーケティング



シニア市場で事業展開している /希望している企業

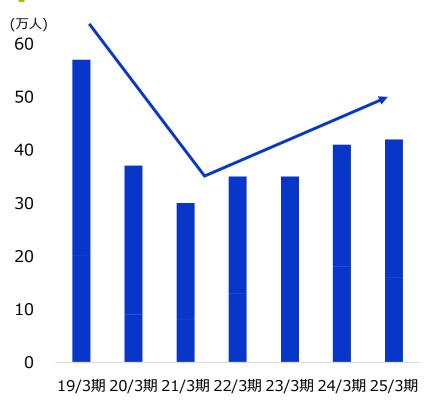
シニア顧客

事業紹介:ことせ事業



- 過去の構造改革で顧客数は底を打ち、2022/3期以降は成長トレンドへ
- ハルメク事業よりやや高い60代以上の顧客を対象に顧客の悩みや期待に応える商品を低~中価格帯で提供
- お得意様ごとに担当が決まっている「御用聞きコンシェルジュ」が快適なお買い物を支援

ことせ事業の顧客数推移*1



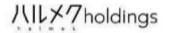
㈱ハルメクよりお求めやすい価格帯の商品を品ぞろえ



お求めやすい価格で販売しています

^{*1} ことせ事業のサービスを1年間で1回以上利用したことのある顧客数(ユニークユーザー数)

事業紹介:先行投資



- 先行投資事業は、HALMEK up(講座・イベント含)、コミュニティ(押し花事業)を中心に投資を実施
- その他、プレシニア向け物販等の検討を進めています

情報コンテンツ

HALMEK up

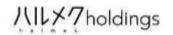


コミュニティ

- 押し花事業



(ご参考) 事業別KPI



• 基盤事業であるアナログ×アクティブシニアビジネスの主なKPI

| NO | 指標分類 | 指標名 | 説明 |
|----|--------------------------------|-------------|--|
| 1 | 全体共通 | 新規顧客数 | 当社との取引を始めた顧客の数 |
| 2 | | アクティブ顧客数 | 12ヶ月以内に当社サービスを利用した顧客数 |
| 3 | ハルメク (ハルメク誌) | 読者数(期間平均) | 一般社団法人日本ABC協会発行社レポートの上期(1~6月)、 下期(7~12月)の読者数の単純平均 |
| 4 | | 新規読者数(期間合計) | 新規購読を始めた読者の数 |
| 5 | | СРО | ハルメク誌の新規顧客1人当たりの広告獲得単価 |
| 6 | 物販(カタログ通販 +現EC+店舗+新 聞外販) | 媒体費率 | 通販売上に対するカタログ費用の割合 |

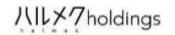
会社概要



| 会社名 | 株式会社ハルメクホールディングス | | |
|---------------------------|---|--|--|
| 創業 | 1989年5月18日 ※当社の前身であるユーリーグ株式会社の設立年月日 | | |
| 所在地 | 本社:東京都新宿区神楽坂四丁目1番1号 神保町オフィス:東京都千代田区神田神保町二丁目2番地 共同ビル神保町 | | |
| 資本金*1 | 2,083百万円 | | |
| 財務情報 25年3月期 (連結ベース) | 売上収益 : 339.3億円 営業利益 : 10.6億円 当期利益 : 6.2億円 | | |
| 社員数*1 (グループ全体) | 446人(男性:137人、女性:309人)、幹部職(課長以上)に占める女性比率:32% | | |
| グループ組織図*1 | (株)ハルメクホールディングス (株)ハルメク・アルファ (旧: 株)全国通販) (株)ハルメク・エイジマーケティング (株)ハルメク・ビジネスソリューションズ | | |

^{*1 2025}年6月30日時点

本資料の取扱いについて



- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。



本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 株式会社ハルメクホールディングス 広報・IR室(IR担当)

Email: ir@halmek.co.jp